




**Customer's success is our business**

---

**非正規社員研修**  
キャリアアップ助成金の活用

株式会社マネージメント・リソース研究所

2013.11.



<http://www.mrri.co.jp/>

## キャリアアップ助成金を活用した研修内容

### 1. 研修概要

貴社に從事する非正規雇用者(有期雇用契約者、短時間労働者等)を対象に能力向上、キャリア・アップを目的にキャリアアップ助成金を活用した研修をご提案いたします。

### 2. 企画運営

株式会社マネージメント・リソース研究所にて研修プログラムの作成、講師の選定・研修の実施を担当いたします。プログラムの内容・担当講師につきましては事前にご確認いただき、ご意向に合わせて対応いたします。

### 3. 制度活用

貴社には、厚生労働省の「キャリアアップ助成金制度」を活用いただくことで、研修費用の負担が最小限に抑えられます。ただし、本制度ではOFF-JTとOJTの組み合わせによる研修カリキュラムが前提となっています。本制度の申請、および各社のOJTプログラムの作成(ジョブ・カード様式4の作成等)につきまして、株式会社マネージメント・リソース研究所が全面的にバックアップいたします。

### 4. 研修内容

OFF-JT(座学) 平成26年 月 ~ 平成26年 月 <3ヶ月予定>

7時間/日 × 2日/月 × 3ヵ月 = 6日間で42時間

内容: コミュニケーション、クレーム対応、製造の基本、品質管理、工程管理等

OJT(職場内訓練) 平成26年 月 ~ 平成26年 月 <OFF-JTと平行実施 3ヶ月予定>

8時間/日 × 15日/月 × 3ヵ月 = 360時間

内容: 事前に設定したOJTプログラムのとおり

### 5. 研修費用

受講料: お一人あたり25万円+消費税(お支払は研修開始までに願います)

キャリア・アップ助成金制度による助成額: 485,600円(キャリアアップ助成金支給例参照)

※ この研修の最少催行人員は10名です。

※ 企業様が責務を怠ってキャリアアップ助成金が受給できない場合、受講料を返金いたしません。

## 実施までのタイムスケジュール

1. 詳細日程の決定 . . . . . 研修開始3ヶ月以前
2. 参加申込み . . . . . 研修開始2ヶ月前までに申込み
3. 助成金認定申請 . . . . . 研修開始1ヶ月前の月末までに申請（社会保険労務士が申請）
4. キャリア  
コンサルティング . . . . . 研修開始2週間（担当：ジョブカードセンター奈良）
5. OJT担当者説明会 . . . . . 研修開始2週間前後
6. 訓練開始 . . . . . 研修期間3ヶ月（OFF-JT日程：研修カリキュラム参照）
7. 助成金支給申請 . . . . . 研修終了翌月（社会保険労務士が申請）

### <研修カリキュラム>

	日程	時間	研修内容	担当講師
第1日目		9:00～17:00	◇ものづくりのプロとしての役割 ①組織の中の役割を考える ②組織活動の重要性 ③真のチームワーク力とは ④ものづくりのプロとして自分を磨く	藪内
第2日目		9:00～17:00	◇コミュニケーションと役割 ①コミュニケーションの基本 ②職場での良好な対人関係づくり ③組織の中の役割を考える ④目標に組み込むには	赤松
第3日目		9:00～17:00	◇顧客満足度とクレーム対応 ①生活者指向重視の仕事 ②事例に学ぶCS活動の実際 ③クレーム対応のポイント ④納得と共感を高めるノウハウを修得	藪内
第4日目		9:00～17:00	◇品質管理について ①品質管理とは ②品質を決める特性と要因 ③品質保証 ④TQC、TQMIによる品質管理の展開	内藤
第5日目		9:00～17:00	◇工程管理について ①工程管理とは ②工程管理を支える生産計画 ③納期・日程改善のすすめ方 ④工程管理の改善とは	内藤
第6日目		9:00～17:00	◇環境マネジメントシステムと原価管理 ①エコアクション、ISO14000の現状 ②温室効果ガスなどの法規制の現状 ③省エネ、省資源への企業の取組 ④原価のしくみと原価計算	内藤

※ 詳細な日程については、貴社担当者様と打ち合わせの上、決定させていただきます。

## 非正規雇用労働者育成支援奨励金

訓練受講者数：1名    訓練期間 3ヶ月  
 総訓練時間：402時間（OJT 360時間、OFF-JT 42時間）

	訓練に要する経費	助成額
OFF-JT	OFF-JTはすべて弊社で受講 250,000円（研修受講料）	200,000円
	OFF-JT受講中の賃金 @1,000×42時間 = 42,000円	@800×42時間 = 33,600円
OJT	訓練実施のための間接経費 （教育者の経費）	@700円×360時間 = 252,000円
合計	292,000円	485,600円

- （※1）認定の申請や奨励金の申請は、弊社の専任社会保険労務士がお手伝いします。
- （※2）1年度1事業所当たりの奨励金の支給限度額は500万円です。
- （※3）上記受講料に別途消費税をご負担ください

# 非正規社員研修カリキュラム

## 教育訓練カリキュラム

訓練コース名		金属加工業キャリアアップ養成講座		
	職務名又は教科名	職務又は教科名の内容	時間	訓練実施機関
実習	安全衛生作業	安全活動(5S、KYT、ヒヤリハット)、QC活動、労働安全衛生法、環境対策、廃棄物処理	60	各事業所
	アーク溶接作業	アーク溶接に使用する機械・工具の種類・構造・特徴、仕様・能力、操作、点検、整備、溶接作業の段取り見習い、溶接、検査、片付け	100	各事業所
	アルゴンシールド溶接作業	アルゴンシールド溶接に使用する機械・工具の種類・構造・特徴、仕様・能力、操作、点検、整備、溶接作業の段取り見習い、溶接、検査、片付け	100	各事業所
	抵抗溶接作業(スポット溶接)	抵抗溶接に使用する機械・工具の種類・構造・特徴、仕様・能力、操作、点検、整備、溶接作業の段取り見習い、溶接、検査、片付け	100	各事業所
	OJT計			360
有期実習型訓練 座学OFF-JT	ものづくりのプロとしての役割	①組織の中の役割を考える ②組織活動の重要性 ③真のチームワークとは ④ものづくりのプロとして自分を磨く	7	株式会社マネージメント・リソース研究所 研修施設内
	コミュニケーション力強化と組織の中の役割	①コミュニケーションの基本 ②職場での良好な対人関係づくり ③組織の中の役割を考える ④組織目標に組み込むには	7	
	顧客満足度とクレーム対応	①生活者指向重視の仕事 ②事例に学ぶCS活動の実際 ③クレーム対応のポイント ④納得と共感を高めるノウハウを修得	7	
	製造の基本と安全衛生	①5S(整理、整頓、清掃、清潔、しつけ) ②安全装置や保護具の用途と安全作業 ③労働災害の防止、リスクアセスメント、製造物責任	7	
	品質管理について	①品質管理とは ②品質を決める特性と要因 ③品質保証とISOの関係 ④TQC、TQMIによる品質管理の展開	7	
	工程管理について	①工程管理とは ②工程管理を支える生産計画 ③納期・日程改善のすすめ方 ④工程管理の改善とは	7	
	学科計			
座学等(Off-JT)計			42	
有期実習型訓練計			402	
主要な設備機器				

1. OJTは別途作成の評価表に基づき、上司又は先輩社員が職場内で実際の業務をさせながら指導します。
2. 上司又は先輩社員がOJTを実施した日に報告書を作成していただきます。
3. 座学(OFF-JT)は、  
6日間 9:00~17:00(1日7時間)とします。
4. 座学(OFF-JT)担当講師
  - ① 赤松寛一 (株)マネージメント・リソース研究所 代表  
コミュニケーションと組織活性化担当
  - ② 内藤秀治 (株)ナイトウ経営 代表、中小企業診断士  
製造の基本、品質管理、工程管理担当
  - ③ 藪内章雄 (有)エムアイシー 代表、中小企業診断士  
プロとしての役割、顧客満足度とクレーム対応
5. 座学(OFF-JT)の実施会場

研修会場：貴社近隣の会場で実施いたします。

※ なお、会場費用は、弊社にて負担いたします。

※OJTカリキュラムは、貴社担当者と相談の上、決定いたします。

## 評価シート（例）

能力ユニット	自己評価			企業評価			職務遂行のための基準
	A	B	C	A	B	C	
環境保全への取組							(1) 地球環境問題や地域の環境問題などに関心を持ち、環境保全への取組みの背景を理解している。
							(2) 自社の企業理念や環境方針について、どのような環境保全に取り組みなければならないのか、行動指針として理解している。
							(3) 金属プレス加工業の特徴、自社の特徴をとらえ、自分の業務における環境負荷を理解している。
							(4) 潤滑油の環境に与える影響について概略を理解している。
							(5) 自分たちの業務において、著しい環境影響を与える業務を理解している。
							(6) 自分の業務に適用される環境関連法規を理解している。
							(7) 金属プレス加工業の特徴、自社の特徴をとらえた効果的な環境保全活動を実施している。
							(8) 日常生活においても、省エネ・省資源などの環境に配慮した行動をとっている。
アーク溶接							(1) 上司や先輩の指導のもと、作業手順書（作業マニュアル）に基づいて、アーク溶接機を使用した金属の溶接、溶断、加熱の作業を行っている。
							(2) 上司や先輩の指導のもと、溶接物の材質や汚れ具合に応じた洗浄作業等の前作業や、アーク溶接に関する段取り作業を実施している。
							(3) 基本的な溶接記号を理解している。
							(4) 上司や先輩の指導のもと、溶接物の形状・構造・重量に合わせた溶接用治工具を選定している。
							(5) 上司や先輩の指導のもと、溶接継手に応じた溶接条件に基づき、簡単な作業姿勢におけるアーク溶接を行っている。
							(6) 上司や先輩の指導のもと、ガウジング幅、ノッチ、板厚等を考慮しながら、加工物に合わせたガウジングを行っている。
							(7) 溶接・組立現場の5S（整理・整頓・清潔・清掃・しつけ）を意識して作業に取り組んでいる。
							(8) 上司や先輩の指導のもと、作業手順書（作業マニュアル）に基づいて、アーク溶接された製品の品質を検査し、溶込不足、アンダカット、ビート外観の粗悪など、問題を発見している。
							(9) 上司や先輩の指導のもと、作業手順書（作業マニュアル）に基づいて、引っ張り試験、曲げ試験、衝撃試験、硬さ試験等の破壊検査を実施している。
							(10) 上司や先輩の指導のもと、作業手順書（作業マニュアル）に基づいて、溶接機の点検・保全を行い、外装の変形・損傷の有無、導線や絶縁保護部分の露出など、装置の支障を発見した場合は直ちに上司や先輩に連絡を取っている。

## キャリア・アップ助成金の認定要件と支給要件

厚生労働省の基準に適合し、非正規雇用者を対象とした訓練(OJTとOFF-JTを組み合わせた訓練)が申請認定され、実施しますと以下のいずれかの助成金受給の対象となります。

### キャリア・アップ助成金認定要件

- ・ 有期契約で雇い入れている者(新たに採用も可)又は期間の定めのない労働者で正規雇用者と同等の待遇を受けていない者
- ・ 健康、環境、農林漁業分野等の事業を行っており、キャリアアップ管理者を配置したうえで、キャリアアップ計画・職業訓練計画を作成して訓練を実施した事業主
- ・ 企業でのOJTと教育訓練機関等で行われるOFF-JTを効果的に組み合わせて実施する訓練であること。
- ・ 3カ月以上6カ月以下の訓練期間であり、総訓練時間が6カ月当たりの時間数に換算して425時間以上であること。
- ・ 総訓練時間に占めるOJTの割合が1割以上9割以下であること。
- ・ 訓練修了後にジョブ・カード様式4(評価シート)により職業能力の評価を実施すること。

### 助成金の支給要件

1. 助成金の受給資格認定申請書の提出の日の前日から起算して6カ月前の日から支給申請書の提出日までの間に、事業所において雇用する雇用保険被保険者を事業主都合により解雇等(退職勧奨を含む)をしたことがない事業主
2. 支給申請時点において、支給の対象となる対象労働者について、事業主都合による解雇をしていない事業主
3. 助成金の支給申請書の提出日から起算して過去3年の間に、緊急人材育成・就職支援基金事業による助成金等、および雇用保険二事業による助成金等を不正受給したことがない事業主
4. 助成金の支給申請日の属する年度の前々年度より前のいずれの保険年度の労働保険料を納入している事業主(支給決定の日までに納入を行った事業主を含む)
5. 助成金の支給申請日の前日から起算して1年前の日から支給申請日の前日までの間に、労働関係法令の違反を行っていない事業主
6. 「風俗営業等の規制及び業務の適正化等に関する法律」に規定する接客業務受託営業を行っていない事業主

※ なお、研修受講者の方が総訓練時間の8割以上受講しなければ、助成金の支給は受けられません。